

施策4

まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興

(全 17 事務事業)

施策4.まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興

● 施策評価表

● 事務事業評価表

掲載開始
ページ

1. まちの魅力発信事業	(まちの魅力推進課)	4-1
2. 県観光団体参画事業	(まちの魅力推進課)	4-3
3. 商工業支援事業	(まちの魅力推進課)	4-5
4. 吉原農区活性化事業(吉原農区活性化基金積立金)	(生活安全課)	4-7
5. 糟屋地域農業振興連絡協議会参画事業	(都市整備課)	4-9
6. 農区等支援事業	(都市整備課)	4-11
7. 早期水稻苗育成助成事業	(都市整備課)	4-13
8. 農業用施設維持管理事業	(都市整備課)	4-15
9. 農業用水門整備事業	(都市整備課)	4-17
10. 農業用井堰管理事業	(都市整備課)	4-19
11. ファミリー農園管理事業	(都市整備課)	4-21
12. 吉原農区活性化事業	(都市整備課)	4-23
13. 伝承文化振興団体支援事業	(社会教育課)	4-25
14. 文化財整備・保護事業	(社会教育課)	4-27
15. 竪坑櫓保存管理事業	(社会教育課)	4-29
16. 歴史資料室運営事業	(社会教育課)	4-31
17. 発掘調査事業	(社会教育課)	4-33

施策評価表 (事業実施年度:令和 04 年度)			前期基本計画期間 <<令和3年度~7年度>>	
体 総 合 計 系 画	基本目標	1. “ひと”と“まち”がにぎわい魅力あふれるまち	施策統括課	まちの魅力推進課
	施策	4. まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	関係課	都市整備課・社会教育課

1. 施策の成果指標の達成度

成果指標 (関連する町の取り組むべきこと)	単位	基準値	R4目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
まちの魅力発信イベント開催数 【総合戦略】	件	2	2		a
4-1		↗	2		
志免町に愛着がある町民の割合	%	76.0	77.6		a
4-2		↗	82.4		
起業塾の参加者数 【総合戦略】	人	8	9		a
4-3		↗	30		
事業所数	事業所	1,621	1,621		a
4-3		→	1,616		
遊休農地(耕作放棄地)面積	ha	1.67	1.40		a
4-4		↘	1.26		

達成度:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

4-1 まちの魅力を発信する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) まちの魅力の発信 48位 / 27位	まちの魅力推進課

町が取り組むべきこと①	商工会や町内の団体などによる地域資源を活用したイベントなどの開催を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・商工会主催の「shoukouミニフェスタ」の開催を支援した。 ・住民団体である「志免68」のイベント、「タテコウヤグライブ」を特別名義後援として支援した(チーム前向き「夏まつり」も特別名義後援として支援したが、コロナにより中止となった)。
課題	・コロナ禍でのイベント実施自体が困難なものもあった。
R6年度取り組み方針	・これまでのとおり、商工会や町内の団体などのイベント開催を支援する。
町が取り組むべきこと②	企業や商工会、行政が連携し、まちの魅力を発信するイベントの企画やPRを行います。
主な取り組み状況	・志免町の魅力を発信するイベントとして、アビスパ福岡とフレンドリータウン協定による「志免町応援デー」、志免町商工会と連携した「shoukouミニフェスタ」、中の坪公園周辺の企業や保育園とコラボしたイルミネーションの点灯「ともにともそうプロジェクト」のイベント企画やPRを行った。
課題	・コロナ禍で人が集まるイベントの実施が難しかった為、今後の通常開催に向けての人集めが不透明である。
R6年度取り組み方針	・これまでのイベントを継続し拡充しながら、他のイベントも検討する。
町が取り組むべきこと③	住民活動団体と連携し、まちを活性化するイベントなどを町内外へ発信します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・中ノ坪公園のイルミネーション点灯を実施し、住民活動団体(和太鼓とよさこい)の披露を行った。
課題	・コロナ禍で人が集まるイベントの実施が難しかった為、今後の通常開催に向けての人集めが不透明である。
R6年度取り組み方針	・これまでのイベントを継続し拡充しながら、他のイベントも検討する。

町が取り組むべきことの達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
<input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない
<input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない

構成する事務事業(評価対象事業のみ)

番号	事務事業名 事務事業の概要	事務事業評価(転記)					施策評価	
		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
			R3 決算	R4 決算	R5 予算			
1	まちの魅力発信事業 志免町への興味や愛着を高めるために、町民や町外住民に対して、まちの魅力を発信するイベントの開催などを行う。	特定財源	4,446	4,044	8,166	D	○	D 成果・費用とも維持
		一般財源	120	204	1,663			
		合計	4,566	4,248	9,829			
		(内 会計年度任用職員人件費)			(1,591)			
	まちの魅力推進課	一般会計	関与 正職員数(人)	1.34	1.03	1.45		
2	県観光団体参画事業 志免町の観光情報を広くするために、福岡県観光推進協議会などに参画する。	特定財源	5	0	0	D	-	D 成果・費用とも維持
		一般財源	105	110	120			
		合計	110	110	120			
		(内 会計年度任用職員人件費)						
	まちの魅力推進課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.15	0.24	0.33		

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性

ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	なし
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし

R6年度の町が取り組むべきことの方向性

- 最優先
- 優先
- 維持

4-2 ふるさと意識を高める	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 文化財の保存・活用と伝統文化の継承 47位 / 8位	社会教育課

町が取り組むべきこと①	豎坑槽の適切な保存管理と活用を行い、その周辺地域とともに歴史や文化にふれあえる拠点をつくりま
主な取り組み状況	・史跡地整備のための測量・設計を行った。
課題	・豎坑槽の歴史について、訪れた人が学ぶことができる場所が周辺にない。
R6年度取り組み方針	・豎坑槽の周辺整備について研究する。
町が取り組むべきこと②	地域への愛着や誇りを育てるため、まちの歴史や伝統文化を継承します。
主な取り組み状況	・各種文化財の認定と適正な管理保存を行った。 ・コロナ禍で歴史講座は中止となったが、歴史資料室の企画展示会・豎坑槽の特別公開を実施した。 ・コロナ禍で石投げ相撲などは中止となった。
課題	・民具や埋蔵文化財を保管している収蔵庫が分散しており、整理が煩雑になっている。
R6年度取り組み方針	・文化財の収集や調査研究を進め、公開できるように整理する。 ・引き続き、伝承文化継承のための取組を支援する。

町が取り組むべきことの達成状況

- 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
- 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない
- 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない

構成する事務事業(評価対象事業のみ)

番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価	
			経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度
	事務事業の概要	担当課		会計区分	R3 決算	R4 決算		
1	伝承文化振興団体支援事業		特定財源	0	0	0	D	D
			一般財源	0	0	439		
	地域文化の伝承活動を行いやすくするために、伝承文化振興団体に対して、助成金を交付する。		合計	0	0	439	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
	社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.07	0.08	0.07	
2	文化財整備・保護事業		特定財源	0	0	0	D	D
			一般財源	3,623	3,636	3,611		
	文化財が適正に管理・保存されるように、文化財保護審議会の運営や文化財整理を行う。		合計	3,623	3,636	3,611	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
	社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.28	0.33	0.36	
3	豎坑槽保存管理事業		特定財源	181,065	3,799	58,032	D	D
			一般財源	0	164	0		
	豎坑槽が適正に保存・管理されるように、補修工事などを行う。		合計	181,065	3,964	58,032	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
	社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.34	0.28	0.31	
4	歴史資料室運営事業		特定財源	0	0	0	D	D
			一般財源	651	608	446		
	志免町の歴史や文化財の知識を深めることができるように、町民に対して、歴史資料室の企画展や文化財ウォーク、炭鉱かるた大会などを開催する。		合計	651	608	446	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
	社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.29	0.30	0.27	
5	発掘調査事業		特定財源	0	0	67	D	D
			一般財源	443	455	610		
	遺跡や埋蔵文化財が適切に記録保存されるように、埋蔵文化財の調査を行う。		合計	443	455	677	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
	社会教育課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.29	0.37	0.35	

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性		
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	なし
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし
R6年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持

4-3 地域の商工業と新たな創業者の育成を支援する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 地域の商工業と新たな創業者の育成支援 46 位 / 44 位	まちの魅力推進課

町が取り組むべきこと①	糟屋南部3町商工会で策定した創業支援事業計画に基づき、商工会との連携による町内の新たな創業者の育成支援と情報発信を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・3町(宇美・志免・須恵)合同の創業支援に関する「起業塾」を開催した。
課題	なし
R6年度取り組み方針	・引き続き、3町合同の創業支援に関する「起業塾」を行う。
町が取り組むべきこと②	町内の事業者の創業や事業拡大への町有地や公共施設の利活用を促進する機会をつくり、事業者の育成を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・総合福祉施設内レストランの利用について、チャレンジショップとしての運営が可能か商工会と協議した。
課題	・町有地や公共施設で利活用できる場所が特定できない。
R6年度取り組み方針	・引き続き、町有地や公共施設で利活用できる場所を検討する。
町が取り組むべきこと③	地域の商工業の維持と充実に向けた支援を行います。
主な取り組み状況	・商工会が実施したプレミアム付電子商品券「しめPay」について、プレミアム分及び事務費を支援した。その他、本事業に関する周知や問合せ対応を行った。
課題	・商工会から、商工会が管理する街路灯の維持管理費用について支援を求められている。
R6年度取り組み方針	・今後の新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響を考慮し、事業を実施する。 ・街路灯については、管理や費用について引き続き協議を行う。

町が取り組むべきことの達成状況	
<input checked="" type="checkbox"/>	町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
<input type="checkbox"/>	町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない
<input type="checkbox"/>	町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない

構成する事務事業(評価対象事業のみ)									
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価		
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R3 決算	R4 決算	R5 予算			
1	商工業支援事業		特定財源	136,975	42,909	11,700	D	◎	D
	商工業者が事業活動を行いやすくなるように、志免町商工会に対して、補助金の交付などを行う。		一般財源	16,224	16,407	48,860			
					合計	153,199	59,316	60,560	成果・費用とも維持
	まちの魅力推進課		一般会計	(内 会計年度任用職員人件費)					
			関与 正職員数(人)	1.15	0.97	1.00			

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性		
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	なし
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし

R6年度の町が取り組むべきことの方向性	<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持
---------------------	---

4-4 適切な農業のあり方を確立する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 農業の支援 43位 / 45位	都市整備課

町が取り組むべきこと①	県や粕屋農業協同組合と一体となって、新規就農希望者が就農しやすい環境づくりを行います。
主な取り組み状況	・福岡県普及指導センター、志免町、農協で、新規就農の相談があれば情報を共有することとしているが、相談がなかった。
課題	・志免町内の農地面積は、減少傾向にあり、新規就農する方に農地を貸借できる農地が見つからない。
R6年度取り組み方針	・福岡県普及指導センター、志免町、農協で、新規就農の相談があれば情報を共有し、就農に結びつける。
町が取り組むべきこと②	「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」に基づき、農業委員会と連携して遊休農地の解消や担い手への農地利用集積、新規参入の促進を行います。
主な取り組み状況	・農業委員会で農地パトロールを行い、遊休農地や荒廃農地の判断をした。また、再生困難な農地に対しては、非農地決定を行った。
課題	・志免町内の農地面積は、減少傾向にあり、新規就農する方に農地を貸借できる農地が見つからない。
R6年度取り組み方針	・農業委員会で農地パトロールを行い、遊休農地や荒廃農地の判断する。新規参入の促進として、新規就農相談会を農業委員会と連携して行う。
町が取り組むべきこと③	国や県の政策に応じて、地元の農産物にふれることができるよう、ソフトとハードの両面から農業を支援します。
主な取り組み状況	・国や県のソフトメニューの補助については、福岡県普及指導センター、志免町、農協で情報共有し、農協が主体で農家へ情報提供した。 ・ハード事業については、町が主体となり、地元と協議を行い実施した。また、国及び県の補助事業については、県と協議を行った。
課題	・補助対象農家が少なく、国、県のソフトの補助メニューはあるが、交付対象者が少ない為、利用できない。
R6年度取り組み方針	・国や県のソフトメニューの補助については、福岡県普及指導センター、志免町、農協で情報共有し、農協が主体で農家へ情報提供する。 ・引き続きハード事業については、町が主体となり、地元と協議を行い実施する。また、国及び県の補助事業については、県と協議を行う。
町が取り組むべきことの達成状況	
<input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない	

構成する事務事業(評価対象事業のみ)									
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価		
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R3 決算	R4 決算	R5 予算			
1	吉原農区活性化事業 (吉原農区活性化基金積立金)		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	0	0	0			
	吉原農区活性化推進のために、吉原農区活性化基金の管理を行う。		合計	0	0	0	成果・費用とも維持		
	生活安全課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.01	0.01	0.01			
2	糟屋地域農業振興連絡協議会参画事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	165	324	440			
	糟屋地区の農業経営の継続的発展と町民へ地産地消の意識づけを図るために、糟屋地域農業振興連絡協議会に参画する。		合計	165	324	440	成果・費用とも維持		
	都市整備課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.35	0.42	0.42			
3	農区等支援事業		特定財源	223	223	223	D	-	D
			一般財源	1,934	2,044	2,128			
	農区・農家間での連携強化や地域農業経営力強化を図るために、農区や農事組合に対して、会議の開催や補助金の交付などを行う。		合計	2,157	2,267	2,351	成果・費用とも維持		
	都市整備課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.48	0.42	0.43			
4	早期水稻苗育成助成事業		特定財源	0	0	0	D	-	D
			一般財源	752	736	790			
	取水期をずらし、安定的な農業用水の確保のために、極早生水稻作付農家に対して、補助金の交付を行う。		合計	752	736	790	成果・費用とも維持		
	都市整備課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.23	0.23	0.23			
5	農業用施設維持管理事業		特定財源	0	1,760	1,900	D	◎	D
			一般財源	5,246	4,669	4,859			
	農業用施設等の機能が良好に保たれるように、農業用施設の修繕や新設・改良工事などを行う。		合計	5,246	6,429	6,759	成果・費用とも維持		
	都市整備課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.29	0.30	0.40			
6	農業用水門整備事業		特定財源		0	-	-	-	-
			一般財源		7,700	-			
	水門整備が必要な箇所の整備が完了するよう工事を行う。		合計	0	7,700	-	休止・廃止済		
	都市整備課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.12	-	-			
7	農業用井堰管理事業		特定財源	328	327	400	D	-	D
			一般財源	1,130	1,499	4,228			
	農業用水が確保できるように、井堰の点検や修繕を行う。		合計	1,458	1,826	4,628	成果・費用とも維持		
	都市整備課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.31	0.34	0.34			
8	ファミリー農園管理事業		特定財源	0	0	0	D	△	D
			一般財源	5,064	4,340	4,363			
	農地が適切に保全されるように、対象の農地をファミリー農園として管理する。		合計	5,064	4,340	4,363	成果・費用とも維持		
	都市整備課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.35	0.36	0.41			
9	吉原農区活性化事業		特定財源	5,806	4,870	-	-	-	-
			一般財源	0	0	-			
	安定的・効率的な農業経営が営まれるように、吉原地区農地に対して、用水路や水門の整備を行う。		合計	5,806	4,870	-	休止・廃止済		
	都市整備課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)						
			関与 正職員数(人)	0.20	0.24	-			
町が取り組むべきことを構成する事業の方向性									
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし							
	拡充事業の方向性や内容	なし							
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし							
	縮小事業の方向性や内容	なし							
R6年度の町が取り組むべきことの方向性			<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持						

3. 施策の総括と今後の展開

成果指標「志免町に愛着がある」と答えた町民の割合は、8割を超えている。昨年度よりやや減少しているが目標を上回っており、引き続きイベントや広報活動を通して、まちへの愛着や誇り、郷土愛を醸成していきたい。
 商工業については、成果指標「起業塾の参加者」はここ数年伸びており、新型コロナウイルス感染症対策として、消費喚起や商工業支援としてのプレミアム付電子商品券事業は概ね好評である。アフターコロナとして、商工イベントも再開されることが予想されるため、町としても適宜支援していきたい。
 農業については、町内の農地は福岡市に隣接し、農地転用が盛んに行われているため、年々減少傾向にある。その中で農地として維持される農家へは、確かな支援を農協等と連携し行う。

4. 施策の進行状況

- 目標に向かって順調に進んでいる
- 目標に向かってある程度順調に進んでいる
- 目標に向かってあまり進んでいない
- 目標に向かって進んでいない

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0404101
事務事業名		まちの魅力発信事業		担当課	まちの魅力推進課	担当係	まちの魅力づくり係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
	取り組み方針	4-1	まちの魅力を発信する		項	03	企画費
				目	01	企画総務費	
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 28 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		㊦ 町民	人	46,518	46,631	46,532
		㊧ 町外住民(国民)	千人	125,502	124,947	124,394
		㊨				
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・町の魅力を感じることができる				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	まちの魅力を再確認し、対外的にPRするための事業を行う ・まちの魅力発信イベントの開催(ともにもそうプロジェクト、アビスパ福岡志免町応援デー) ・企業や団体とのイベント開催などの連絡調整				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	まちの魅力発信イベント開催数	回	目標	2	2	2
				実績	2	2	100.0%
イ	活動	企業や団体とのコラボ企画数	件	目標	2	2	2
				実績	1	2	100.0%
ウ	成果	まちの魅力発信イベント参加者数	人	目標	1,500	1,350	1,500
				実績	1,930	1,650	122.2%
エ	成果	企業や団体とのコラボ企画参加者数	人	目標	7	7	7
				実績	7	7	100.0%
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	601	0	0	
受益者負担		0	0	0	0			
その他特定財源		4,446	3,409	4,044	1,900			
一般財源		120	39	204	7,929			
合計(A)		4,566	4,049	4,248	9,829	4,049		
(内 会計年度任用職員人件費)					1,591			
正職員人件費[按分](B)					11,237			
トータルコスト(A)+(B)					21,066			
関与職員数(単位:人)		正職員	1.34	1.30	1.03	1.45		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 第5次志免町総合計画後期基本計画で「まちの魅力発信」という取り組み方針が立てられ、平成28年4月に「まちの魅力推進課」が発足し事業を開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 国の地方創生事業推進により、全国の多くの自治体がPR活動や移住政策を活発化している。志免町も人口増加の現状に甘んじることなく、まちの魅力を発信し、ふるさと意識を高め、定住化を促進する必要がある。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 議員や住民団体などは「まちの魅力」「まちの元気づくり」について関心が高い。
---	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民が住み続けたいと思える魅力と活力のあるまちづくりを行うためには、町内外の人に魅力を感じてもらうことが不可欠である。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	まちの魅力を発信することは、総合計画施策4「まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興」で町が取り組むべきことに明記されているため妥当である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が、町内外を問わず広く志免町の魅力を発信するためのものであり、妥当である。ともにもそうプロジェクトでは、住民団体の協力を得て開催している。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	新型コロナウイルス感染症の拡大による非常時のため、イベント等の中止・縮小を余儀なくされたが、成果は達成できた。コロナ後は、多方面に新たな取り組み内容を実施していきたい。	2			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町が、町内外を問わず広く志免町の魅力を発信するためのものであり、適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	新型コロナウイルス感染症拡大前は、イベントを中心にまちの魅力発信を行ってきたが、感染症の影響でイベントの中止・縮小をせざるを得なかった。今後は、SNSやメディアを通したまちの魅力発信にも力を入れていきたい。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の人員で実施し、業務手順も簡素化しているため効率的である。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限のコストで実施している。プロモーション事業の規模とコストは比例するが、手法等を検討しコスト削減に努めている。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国・県等の補助金はなく、広くまちの魅力を発信するため受益者負担を求める事業ではない。また、おうえん基金や新型コロナウイルス感染症に関する臨時特別給付金等を充てているため、一般財源のコストは最小限に抑えられている。				
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
		0点	1点	2点	3点	今年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小し又は感染症対策を講じた内容に変更して各種イベントを実施した。九州朝日放送と協力しまちの魅力発信を行うプロジェクト「ふるさとWish」では、シルバー人材センターや住民団体の活動紹介など、新たな分野から様々な町の情報や志免町の良さを発信することができた。また、ふるさと納税の返礼品となっている町公式キャラクター(シメツチャ)のぬいぐるみの販売を開始し広報したところ、34個を売り上げることができた。アビスパ福岡との事業として「志免町応援デー」を実施し、町と商工会のブースを設け、まちのPRを行い、来場者に対しては町長から直接メッセージを発信した。また、町民350名を招待し、町オリジナルグッズを身に付けて観戦することによるシビックプライドの醸成を図った。	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c		c
		いずれか1点	c	c	c		c
		合計4点	c	c	b		b
		合計5点	c	b	b		a
	合計6点	c	b	a	a		
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	D			
縮小		F				
休廃止	G					
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0404102
事務事業名		県観光団体参画事業		担当課	まちの魅力推進課	担当係	まちの魅力づくり係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	07	商工費
	取り組み方針	4-1	まちの魅力を発信する		項	01	商工費
					目	01	商工総務費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 6 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 加盟団体	団体	3	3	3
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	志免町の観光情報等のPRが行われる				
		観光資源の宣伝及び観光客の誘致促進を行う県観光団体へ加入し、情報収集や町の情報提供を行う ・加盟団体への負担金支払事務 ・会議等への参加 ・発信情報の提供 ・食の魅力を発信するデジタルリーフレットの作成				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	負担金交付団体数	団体	目標	3	3	100.0%
				実績	3	3	
イ	活動	会議等へ参加回数	回	目標	3	3	100.0%
				実績	3	3	
ウ	成果	クロスロードふくおか(ホームページ)掲載件数	件	目標	9	9	100.0%
				実績	9	9	
エ	成果	福岡よかとこ.COM(ホームページ)掲載件数	件	目標	12	12	100.0%
				実績	12	12	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		5	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			105	120	110	120		
合計(A)			110	120	110	120		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,134	3,217	1,839	2,560		
	トータルコスト(A)+(B)		1,244	3,337	1,949	2,680		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.15	0.42	0.24	0.33		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町の観光や産業のPRを行うため、平成6年に2団体へ加入。その後、福岡地区観光協議会への加入、負担金は平成28年度から発生している。福岡県サイクルツーリズム推進協議会に平成31年1月加入した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 観光に関する情報がネットや雑誌で数多く発信されるようになってきた。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 町を観光で町外にアピールすべきとの要望はある。また、壱岐槽以外の観光資源はないかとの意見もある。
---	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	まちのスポットやイベント等の情報発信が、活力あるまちや住み続けたいと思えるまちに結びつけているため、貢献度は高い。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	まちを訪れてもらい賑わいを生み出すためには、様々な方たちで情報発信が必要のため妥当である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	県の観光団体が県内市町村のPRをしており、町が取り組む事業と考える。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	今年度はドライブスタンプラリーが行われたが、他にも新たな魅力発信の企画等を行うことができる。	2			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現段階では現協会以外の負担金はなく、町の観光情報等を発信しているため適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町単独で行うより、県やほかの観光団体が行う方が、より多くの人に届けることができ、適切である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の業務を行っており、効率的である	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	各協会等の負担金のためと投入コストは適正である。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	全て一般財源で、国・県の補助はない。				
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
		0点	1点	2点	3点	新型コロナウイルスの影響で低迷していた宿泊施設に宿泊客が戻りつつあるため、令和4年度の宿泊税は前年度より大幅に増加し、観光客を志免町に呼び込むための事業費に充てることができた。志免町に立ち寄り、より長時間滞在してもらうために、町内の飲食店、施設、イベント等についてさらに広く情報発信していく必要がある。	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c		c
		いずれか1点	c	c	c		c
		合計4点	c	c	b		b
		合計5点	c	b	b		a
	合計6点	c	b	a	a		
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	D			
縮小		F				
休廃止	G					
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0404301
事務事業名		商工業支援事業		担当課	まちの魅力推進課	担当係	まちの魅力づくり係
総合計画 体系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	4-3	地域の商工業と新たな創業者の育成を支援する		款	07	商工費
					項	01	商工費
					目	02	商工業振興費
根拠法令条例等		志免町商工会事業費補助金交付要綱		個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 04年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	㊦ 志免町商工会 ㊧ 志免町料飲店組合 ㊨ 町内商工業事業者(商工会登録事業所) ・様々な事業活動を行うことができる	団体 団体 事業所	1 1 959	1 1 957	1 1 960
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	商工会活動の振興に携わる志免町商工会への支援等を行う ・補助金の交付 ・商工会との事業連携や情報共有 ・プレミアム付電子商品券発行 ・3町合同起業塾 ・志免ブランドPR等の協力 ・町村フェア出展				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金額	千円	目標	16,200	30,500	194.5%
				実績	16,200	59,313	
イ	活動	商工会との当課関連事業連携回数(イベント参加等)	回	目標	5	7	100.0%
				実績	7	7	
ウ	成果	商工会が行う中小企業に対する事業件数	件	目標	31	34	91.2%
				実績	29	31	
エ	成果	商工会が行う社会福祉活動件数	件	目標	9	9	100.0%
				実績	7	9	
オ	成果	料飲店組合活動事業件数	件	目標	4	4	100.0%
				実績	4	4	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			136,975	14,200	42,909	11,700		
一般財源			16,224	16,300	16,407	48,860		
合計(A)			153,199	30,500	59,316	60,560	16,300	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		8,671	12,094	7,424	7,750		
	トータルコスト(A)+(B)		161,870	42,594	66,740	68,310		
	関与職員数(単位:人)	正職員	1.15	1.58	0.97	1.00		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町内の商工業を活性化させるため。志免町商工会は商工活動の振興に携わるため昭和22年に設立。	②事務事業を取り巻く環境の変化 近年の技術革新の進展やそれに伴う国際競争力の激化に伴い、生産性の短期間向上を目的とした事業が国から県市町村に下りてきている。 新型コロナウイルスの発生により町内中小企業への景気対策事業が国・県から下りてきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 商工会からは、花火事業のための補助金増額の要望があっている。
---	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	事業及び活動の件数が昨年度の実績と比べ同等以上であり、地域経済の活性化の推進と人々の交流が活発になってきたことに結びついている。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	上位施策の地域経済の活性化の推進と人々の交流が盛んで活力あるまちを目指すためには、商工業の様々な事業活動を展開することが必要であるため適切である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	商工業活動の活性化は町の活性化にもつながるため、町主体の関与が妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	町内の産業支援や地場産業の維持及び充実については様々な手法があると思われる。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事務事業の目的を達成するには、この団体が最も有効である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	商工会法により商工会が設置されており、この手段が最も有効である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	補助金交付の業務が主であるため、効率的に行える。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	商工会、料飲店組合は、町の補助金以上に事業費を投入し、地域経済の活性化を推進しているため、町の投入コストは適切である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	商品券事業について一部県からの補助があり、そのほかは、国補助の地方創生臨時交付金充てている。	

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	新型コロナウイルスの影響はややあったものの、商工会として企画・参加するイベントは感染対策等を行いつながりながら実施できた。3町(宇美・志免・須恵)合同の創業支援に関する「起業塾」は昨年度に引き続き開催でき、昨年は開催できなかった事業者同士の交流も開催できた。また、町村フェアは3年ぶりに開催され、町のPRをすることができた。商品券発行事業では、初めて電子商品券を発行し、新型コロナ対応地方創生臨時交付金を活用できたため、プレミアム率も20%から30%へ引き上げた。商工会、加盟店舗ともに事務負担が軽減し、消費者からも使いやすいとの声が多く寄せられた。高齢者をはじめスマートフォン操作が苦手な方に説明会や窓口でフォローを行った。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	D			
縮小		F				
休廃止		G				
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1204401
事務事業名	吉原農区活性化事業(吉原農区活性化基金積立金)		担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01 一般会計
					款	06 農林水産業費
	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する		項	01 農業費
					目	07 吉原農区活性化事業費
根拠法令条例等	吉原農区活性化整備基金条例			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 22 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		⑦ 吉原農区活性化基金	千円	26,311	21,441	21,441
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・吉原農区活性化推進を目的に活用される				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	吉原農区活性化を目的とした事業に基金の繰入を行う ・基金繰入事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア	活動	基金繰入事務	件	目標	1	1	0
				実績	1	1	100.0%
イ	成果	基金繰入額	千円	目標	7,000	6,500	0
				実績	5,805	4,869	74.9%
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			0	0	0	0		
合計(A)			0	0	0	0		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		74	76	75	77		
	トータルコスト(A)+(B)		74	76	75	77		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.01	0.01	0.01	0.01		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 志免・宇美浄化センターの契約更新に伴い、吉原地域農地の改善活性化を目的とした整備基金を積み立てる事となり、その運用として吉原農区活性化事業が開始となった。	②事務事業を取り巻く環境の変化 平成22年度から令和元年度まで毎年2千万円ずつ積立、合計2億円積立が終了した。なお積立てた基金は都市整備課で事業を行っており、生活安全課では繰入だけの内容となっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 農業従事者が耕作し易くなったため、今後の工事を待ち望む意見がある。
---	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	農業支援、活性化の観点から、確実に耕作に効率化が図られ、結果、産業を支援し、住み続けたいと思える施策の目的に結び付く。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	町内農用地域では、唯一集積した地域であり、農業支援として有効な事業であり、引き続き当該事業を推進することで、効率的な営農を支援でき、吉原農区の活性化を目的とした事業に繰り入れできている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1304402	
事務事業名	糟屋地域農業振興連絡協議会参画事業			担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総体 計画 系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算 科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する		款	06	農林水産業費
根拠法令条例等				個別計画	項	01	農業費
					目	03	農業振興費
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 54 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 糟屋地区農業振興連絡協議会	団体	1	1	1
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	糟屋地区農業振興連絡協議会やその下部組織粕屋南部地区農業振興連絡協議会(志免、宇美、須恵、農協、普及センター)への参画を行い、各団体と連携した取組を行う ・会議への出席 ・企画事業への参画				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	会議参加回数	回	目標	5	5	4
				実績	3	4	
イ	活動	負担金額	千円	目標	435	435	435
				実績	164	324	
ウ	成果	企画事業数	事業	目標	1	1	1
				実績	0	1	
エ	成果	企画事業参加者数	人	目標	100	60	60
				実績	未開催	21	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			165	440	324	440		
合計(A)			165	440	324	440		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		2,633	3,210	3,209	3,254		
	トータルコスト(A)+(B)		2,798	3,650	3,533	3,694		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.35	0.42	0.42	0.42		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和54年7月13日より実施。 糟屋地区の各町と連帯し農業振興を図る。	②事務事業を取り巻く環境の変化 米の価格下落により非常に厳しい経営環境にある中で、地域農業振興連絡協議会による営農指導や米の需給調整等を行っている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	---	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	農業関係機関や農協等の営農指導により、地域の特性に応じた振興を図り、農業の振興に貢献している。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	事業を通して、農家だけでなく一般町民に対して、地産地消や食育について考えてもらう機会が提供できており、町としての助成は必要である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町だけではなく、農協等農業関係機関と協議会を立ち上げて行っているため、参画の余地はない。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	地元のものを食べるといった地産地消の意識を持ってもらうことで、糟屋地区の農産物の需要確保が図られるため、向上する余地がある。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	意図を達成するためには、関係機関との会議を開催し協議する必要があるため適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	意図を達成するためには、関係機関との会議を開催し協議する必要があるため適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限で負担しているため、適切である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国・県等の補助等はないため、適切である。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果) コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1304403	
事務事業名		農区等支援事業		担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01 一般会計	
	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する		款	06 農林水産業費	
根拠法令条例等				個別計画	項	01 農業費	
					目	03 農業振興費	
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 農区 ⑧ 農事組合 ⑨ 農業用施設(井堰、ため池)	農区 組合 箇所	6 22 26	6 22 26	6 22 26
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・(農区、農事組合)農区、農家間での連携が強化され、地域の農業力が強化される ・(農業用施設)適切に管理される				
		農区、農事組合等への情報提供や連携できる取組を行う ・水利管理の委託契約事務、委託料支払事務 ・農区長会議、農事組合長会議の開催 ・稲作こよみ説明会の開催				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率	
ア	活動	水利管理委託金額	千円	目標	1,710	1,710	1,710	100.0%
				実績	1,710	1,710		
イ	活動	農区長会議開催数	回	目標	12	12	12	75.0%
				実績	7	9		
ウ	活動	農事組合長会議開催数	回	目標	1	1	1	100.0%
				実績	0	1		
エ	成果	農区長会議参加者数(平均)	人	目標	6	6	6	100.0%
				実績	6	6		
オ	成果	農事組合長会議参加者数(平均)	人	目標	22	22	22	100.0%
				実績	0	22		
カ				目標				
				実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		223	223	223	223	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			1,934	2,128	2,044	2,128		
合計(A)			2,157	2,351	2,267	2,351		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		3,623	3,526	3,209	3,333		
	トータルコスト(A)+(B)		5,780	5,877	5,476	5,684		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.48	0.46	0.42	0.43		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 農作業の円滑化を図るため、農区・農事組合内での連携や作業協力を進めることを目的に開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 各農区とも高齢化が進む中、担い手不足が深刻化してきている。そのような状況下で、農区内各農家間での連携が重要になってきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	---	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	農区・農事組合内の連携を強め、スムーズな農業経営、良好な農業環境の形成を行うことで、農業の振興に貢献している。	2	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			良好な農業環境の形成は公共性が高いため、行政が行うことは妥当といえる。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			国・県及び町の施策等について、農区・農事組合を通して農家に対して情報提供をすることがあるので、妥当である。
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	農家への連絡調整、水利管理については、農区・農事組合で必要なシステムを構築しており、これ以上の成果の向上余地はない。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			情報提供、情報共有及び連絡調整するためには適切である。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			情報提供、情報共有及び連絡調整するためには適切である。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限の人員で行っており、効率的である。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			必要最小限のコストで行っており、効率的である。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			すでに、国、県の補助対象のものについては、交付を受けており、これ以上の財源確保は難しいため、適切である。

分析・検証結果	妥当性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	区・農事組合との連携を強めていくことによって、災害時の対応等含めて良好な農業環境を形成できている。良好な農地形成は、広範囲に災害を抑止する等の利益へとつながることになるので、公平・公正な施策といえる。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1304404	
事務事業名	早期水稻苗育成助成事業			担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する		項	01	農業費
					目	03	農業振興費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		⑦ 農家	軒	82	82	82
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・水稻作付け時期の調整を行うことにより、農業用水資源の確保及び円滑な活用と安定化を図る				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	安定的な農業用水の確保のため、極早生水稻作付に助成金を交付する ・極早生水稻作付農家数、購入苗数の把握 ・補助金交付事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	助成金交付件数	件	目標	29	30	29
				実績	30	29	96.7%
イ	活動	助成金額	千円	目標	790	790	790
				実績	751	737	93.3%
ウ	成果	極早生水稻作付農家数	軒	目標	29	30	29
				実績	30	29	96.7%
エ	成果	極早生水稻作付農家確保率(極早生水稻作付農家数/必要な農家数)	%	目標	100.0	100.0	100.0
				実績	100.0	100.0	100.0%
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			752	790	736	790		
合計(A)			752	790	736	790		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,737	1,763	1,763	1,779		
	トータルコスト(A)+(B)		2,489	2,553	2,499	2,569		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.23	0.23	0.23	0.23		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 水田への引水を全水田農家が一斉に行うと、渇水時には全農地へ必要な水が届かなくなる可能性があるため、引水の時期をずらす必要があることから開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	-----------------------	----------------------------

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	農業用水の確保及び円滑な活用をすることで、適切に水稻作付ができ、農業の振興に貢献している。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	農業用水の確保は、農地の健全な運営につながり、健全な農地運営がされることは、景観要素、地球温暖化防止、災害緩衝の機能も期待される。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が早期水稻育苗成助成をすることで、農業用水を安定確保することができるため、住民参画の余地はない。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	早期作付けをすることで、湯水時でも農業用水の融通が出来、被害を最小限にできるため向上の余地はない。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	対象地区を指定しているため適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	多くの農家で水稻の作付け時が重なると、湯水時等は生活用水・農業用水の確保ができなくなる為、他に手段はない。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限で負担しているため、適切である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国・県等の補助等はないため、適切である。	

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	極早生水稻苗の助成をすることで、水稻作付け時期の調整をし、農業用水の確保及び円滑な活用をすることができた。しかしながら、近年の異常気象の影響で、極早生水稻苗の品種の品質が良くないため、農家からは、品種改良等の要望が出ている。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1304406	
事務事業名	農業用施設維持管理事業			担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する		項	01	農業費
					目	04	農地費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦ 農業用施設(ため池)	面	11	11	11
		㊧ 農業用施設(小型水門)	基	83	83	83
		㊨				
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・機能が良好に保たれる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	施設の維持補修、新設工事、改良工事、ため池の浚渫等を行う ・各種契約事務、支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	修繕箇所数	箇所	目標	5	5	120.0%
				実績	7	6	
イ	活動	工事箇所数	箇所	目標	1	1	100.0%
				実績	4	1	
ウ	成果	農業用施設修繕率(修繕等対応箇所数/修繕等必要な箇所数)	%	目標	100.0	100.0	63.6%
				実績	84.6	63.6	
エ	成果	農業用施設不具合件数	件	目標	5	5	160.0%
				実績	4	2	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	1,850	1,760	1,900	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			5,246	4,188	4,669	4,859		
合計(A)			5,246	6,038	6,429	6,759		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		2,185	2,604	2,300	3,096		
	トータルコスト(A)+(B)		7,431	8,642	8,729	9,855		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.29	0.34	0.30	0.40		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 農業用施設の破損・老朽化により農業経営に支障が生じたことから。	②事務事業を取り巻く環境の変化 農業者の高齢化等により、農家戸数は年々減少してきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 農業団体から「農業用施設の改修」等の要望がある。
---	---	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	農業用施設の維持管理を行うことで、農地の保全を図ることができ、農業の振興に貢献している。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	農区からの要望や日常点検の結果に基づいた内容であるため、妥当である。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	農業用施設の維持管理を行っていくことは農業の振興及び災害の抑制のため行政関与は妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	修繕要望箇所を実施できていない箇所があるため、修繕計画を立てて補修・管理を行うことで成果を向上させることができる。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	農業用施設維持管理に必要な対象に絞っているため適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	農業用施設の機能維持のため、現時点で最適と思われる方法にて補修・管理を行っている。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の職員にて事業実施している。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最低限の補修・管理を行うものであり、成果の向上余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現在行っている維持管理に対する費用については補助等はないため適切である。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1304407	
事務事業名	農業用水門整備事業			担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総合計画 体系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する		款	06	農林水産業費
					項	01	農業費
					目	04	農地費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 水門整備が必要な箇所	箇所	0	1	0
		⑧				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	地元農区の要望による、工事を行う ・地元農区との協議 ・契約事務 ・工事等の管理				
		・整備が完了する				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	整備件数(工事、委託)	件	目標	0	1	0
				実績	0	1	100.0%
イ	成果	整備進捗率	%	目標	整備未実施	1	整備未実施
				実績	整備未実施	1	100.0%
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			0	8,000	7,700	0		
合計(A)			0	8,000	7,700	0		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,737	923	923	158		
	トータルコスト(A)+(B)		1,737	8,923	8,623	158		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.23	0.12	0.12	0.02		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 農業用施設の破損・老朽化により農業経営に支障が生じたことから。	②事務事業を取り巻く環境の変化 農業者の高齢化等により、農家戸数は年々減少してきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 農業団体から「農業用施設の改修」等の要望がある。
---	---	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	農区との連携を強め、スムーズな農業経営、良好な農業環境の形成を行うことで、農業の振興に貢献している。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	良好な農業環境の形成は公共性が高いため、行政が行うことは妥当といえる。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	施設について設置することは、妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	施設設置については、農区の要望・協議をしており、これ以上の成果の向上余地はない。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要カ所に設置するため適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要カ所に設置するため適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限の人員で行っており、効率的である。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限のコストで行っており、効率的である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国、県の補助対象のものについては確認を行い、補助交付対象ではない為これ以上の財源確保は難しいため、適切である。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
—	廃止済					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1304408	
事務事業名		農業用井堰管理事業		担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01 一般会計	
	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する		款	06 農林水産業費	
					項	01 農業費	
					目	05 井堰管理費	
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 23 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 農業用施設(井堰) ⑧ ⑨	箇所	11	11	11
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	宇美川水系の瀬戸井堰、南里本井堰、別府上井堰の大型井堰は毎年点検、その他の井堰は、年1箇所程度ローテーションで点検等を行う ・点検業務委託契約事務 ・修繕の実施				
	②意図	・安全かつ機能が良好に保たれる				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	井堰点検数	箇所	目標	1	4	4
				実績	2	3	75.0%
イ	活動	井堰修繕件数	件	目標	1	0	1
				実績	0	1	#DIV/0!
ウ	成果	適正に動作する井堰の割合	%	目標	100.0	100.0	100.0
				実績	100.0	100.0	100.0%
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			328	400	327	400		
一般財源			1,130	1,200	1,499	4,228		
合計(A)			1,458	1,600	1,826	4,628		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		2,334	2,604	2,603	2,635		
	トータルコスト(A)+(B)		3,792	4,204	4,429	7,263		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.31	0.34	0.34	0.34		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 老朽化した井堰の機能維持を図るため、また、豪雨時の災害防止対策として井堰の整備点検を行う。	②事務事業を取り巻く環境の変化 農業者の高齢化・都市化により農家戸数は年々減少してきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 農業団体から整備の要望がある。
---	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	農業用井堰を点検し安全かつ機能を良好に保つことは、農地の保全を図ることができ、農業の振興に貢献している。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	適切な農業のあり方を確立するためには井堰が適正に作動し農業を支えることが必要であるため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	農業を振興及び洪水時の災害抑制するため行政関与は妥当である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	農業用井堰の機能維持のための整備点検を行っており、機能が健全に保たれている。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	農業用井堰のみを対象としており、変更の余地はない。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	農業用井堰の安全かつ機能を良好に保つためには、井堰の機能維持のために定期的な点検を行うことが適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の職員にて事業実施している。	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	農業用井堰の機能維持のため、最低限の整備点検を行うものであり、コスト削減の余地はない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国・県等の補助等はないため、適切である。	

分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		0点	1点	2点	3点	
	いずれか0点	d	c	c	c	施設の老朽化が年々進み、突発的な不具合等が発生している。限られた予算では全ての井堰を点検できない為、優先順位をつけて点検を行っていく必要がある。
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1304409	
事務事業名	ファミリー農園管理事業			担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する		項	01	農業費
					目	02	農業総務費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 53 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象(誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度(見込)
		⑦ファミリー農園	m2	14,479	13,797	13,797
		④				
	②意図(対象をどのような状態にしたいか)	・農地として保全される				
事業内容	③手段(どのようにして) ※04年度に行った主な活動	地域住民が利用できるファミリー農園としての管理を行う ・土地賃貸借契約事務、土地借り上げ料支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度(見込)	達成率
ア 活動	契約、支払事務件数	↑	件	目標	11	10	100.0%
				実績	11	10	
イ 成果	農地として保全された面積(ファミリー農園借り上げ面積)	↑	m2	目標	14,479	13,797	100.0%
				実績	14,479	13,797	
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度(決算値)	04年度(当初予算)	04年度(決算値)	05年度(当初予算)	06年度(計画)	07年度(計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			5,064	4,363	4,340	4,363		
合計(A)			5,064	4,363	4,340	4,363		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		2,633	2,755	2,755	3,175		
	トータルコスト(A)+(B)		7,697	7,118	7,095	7,538		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.35	0.36	0.36	0.41		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
国の政策(昭和53年)により減反した農地を利用して、町民・地域住民による自家用野菜・花の栽培、高齢者の生きがいつくり、住民同士の触れ合いの場、農地緑地の保全などの多様な目的で事業を開始した。当初の運営・管理については、地元町内会で行っていた。	ほぼ100%に近い利用率があり、地域住民の生きがいつくりに貢献しているところはあるが、当初、管理は町内会がしていたが、平成25年度より町が管理。	近隣住民からの、路上駐車之苦情及び野焼之苦情がある。

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	農地・緑地の保全を行うため、農業の振興に貢献している。	2
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	農地として保全はされるが、一部の農地に限定されるため、公平性を確保する観点から考えると妥当性は低い。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	国の減反政策が終了し、町が主体的にする必要性がなくなっているため、検討の余地はある。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	町内の農地面積は広くなく、使用についても地権者の意向に左右されることがあるため向上余地はない。	3
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	ファミリー農園として利用している間については、耕作放棄地とはならないため、適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	ファミリー農園として利用している間については、耕作放棄地とはならないため、適切である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限の人員で行っており、効率的である。	2
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最小限のコストで行っており、効率的である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	受益者負担および借り上げ料の値下げによって、コスト削減を図ることができる。	

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いづれか0点	d	c	c	
いづれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
b		課題が少しあり業務の一部見直しが必要				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D		成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1304410	
事務事業名	吉原農区活性化事業			担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	06	農林水産業費
	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する		項	01	農業費
					目	07	吉原農区活性化事業費
根拠法令条例等	吉原農区活性化整備基金条例			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H 22 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		⑦ 吉原農区活性化整備基金を活用した工事	件	1	1	0
		④ ⑤				
②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・期限内に完了する					
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	工事について、吉原農区と地権者との説明や協議を行い、計画設計、施工及び管理を行う ・吉原農区、地権者との協議 ・設計図書の作成 ・工事契約事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	吉原農区、地権者等への説明回数	回	目標	2	1	0
				実績	1	1	100.0%
イ	活動	協議打合せ回数	回	目標	2	1	0
				実績	2	1	100.0%
ウ	活動	工事発注数	件	目標	1	1	0
				実績	1	2	200.0%
エ	成果	工事進捗率	%	目標	100.0	100.0	0.0
				実績	100.0	100.0	100.0%
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			5,806	6,500	4,870	0		
一般財源			0	0	0	0		
合計(A)			5,806	6,500	4,870	0		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		1,507	1,832	1,832	619		
	トータルコスト(A)+(B)		7,313	8,332	6,702	619		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.20	0.24	0.24	0.08		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 宇美・志免浄化センターの契約更新に伴い、吉原地域農地の改善活性化を目的とした整備基金を積み立てる事となり、その運用として吉原農区活性化事業が開始となった。	②事務事業を取り巻く環境の変化 宇美・志免浄化センターの契約更新に伴い、吉原地域農地の改善活性化を目的とした整備基金を積み立てる事となり、その運用として吉原農区活性化事業が開始となった。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 農業従事者が耕作し易くなったため、今後の工事を待ち望む意見がある。
---	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	農業支援・活性化の視点から、確実に耕作に効率化が図られ、結果、産業を支援し、住み続けたいと思える施策の目的に結びつく。	3		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			工事を期限内に完了させることで、耕作の効率化が出来る。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			吉原農区活性化基金を活用した事業である。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	町内農用地域では唯一集積した地域であり、農業支援として有効な事業であり、引き続き当該事業を推進することで、効率的な営農を支援できる。	3		
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			工事を実施する為適切である。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			工事をする事で、耕作の効率化が出来るため、他に有効な手段はない。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。	3		
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			吉原農区活性化委員会及び地元地権者との協議の結果、工事の設計をし、入札を行っているため、適切である。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			吉原農区活性化基金を活用した事業であるため、適切である。	
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
		0点	1点	2点	3点	今年度については、地元協議及び工事期間においても、苦情、事故もなく、工事を完了することができた。 今後の方針についても、継続して吉原農区活性化委員会及び地元農区と協議を行っていく。
	いずれか0点	d	c	c	c	
	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	D			
縮小		F				
休廃止		G				
—	廃止済					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1504201	
事務事業名	伝承文化振興団体支援事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
	取り組み方針	4-2	ふるさと意識を高める		項	05	社会教育費
					目	05	文化振興費
根拠法令条例等	志免町伝統文化保存継承事業費補助金交付要綱			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度~ 年度				

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦ 伝統文化振興団体	団体	2	2	2
		㊧ 町民	人	46,518	46,532	46,547
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	<ul style="list-style-type: none"> ・(団体)活動が活発に行われる ・(町民)郷土文化に触れることができる 				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	町の伝統文化の保存、継承を担う団体(志免農区、興風会)への活動支援を行う ・補助金の交付 ・大会運営に係る一部業務支援				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金額	千円	目標	400	400	400
				実績	0	0	
イ	成果	大会開催数	回	目標	2	2	2
				実績	0	0	
ウ	成果	石投げ相撲出場者数	人	目標	150	150	150
				実績	未開催	未開催	
エ	成果	剣道大会出場者数	人	目標	380	380	380
				実績	未開催	未開催	
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			0	439	0	439		
合計(A)			0	439	0	439	439	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		528	611	607	544		
	トータルコスト(A)+(B)		528	1,050	607	983		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.07	0.08	0.08	0.07		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 地域伝承スポーツを通して青少年の健全育成を図るとともに郷土の歴史文化に親しみ、志免町の誇りある文化を発信、広め、郷土愛を深めるために主催者に対して助成を行ってきた。	②事務事業を取り巻く環境の変化 人口が増加し、志免町に新しく住まれる方、もともと住まれている方など、町の伝統行事に対する認識度に格差が生じてきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 石投げ相撲(志免農区)関係者からの支援要望がある。
--	--	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	伝承文化振興団体の活動が活発に行われ、町民の郷土文化に触れる機会が増えることは、上位施策の目指す姿「伝統文化に誇りを持ちながら住み続けたいと思えるまちづくり」に直結する。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	伝承文化振興団体の活動が活発に行われ、町民の郷土文化に触れる機会が増えることは、総合計画の取り組み方針である「ふるさと意識を高めること」に合致し、伝統文化を継承することにつながる。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	伝統文化を保存・継承していくためには、活動を行う団体に対し、町は主に活動費への一部補助など経済的な支援を行い、団体と協働することが必要である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大会を開催することができなかったため、期待する効果を得ることができなかったが、今後は感染防止対策を徹底した大会運営を行うことで参加者数を維持することができる。	2			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町伝統文化保存継承事業費補助金交付要綱で定められた対象団体のため適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	伝承文化振興団体へ補助金交付などの支援を行うことにより、その活動が活発になり、町民の郷土文化に触れあう機会を創出できるため適切である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	補助金交付事務等は必要最小減の職員で行っており、見直しの余地はない。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	費用の削減を行うと維持継続が難しくなるため適切である。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国や県等の補助等はないため適切である。				
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
		0点	1点	2点	3点	今後も新型コロナウイルス感染拡大のため、大会は開催されなかった。3年以上開催されていないため、参加者数が減少することが懸念されるが、今後は要請があれば大会運営に協力し、団体の活動を積極的に支援することで伝承文化の保存・継承に努めていきたい。	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c		c
		いずれか1点	c	c	c		c
		合計4点	c	c	b		b
		合計5点	c	b	b		a
	合計6点	c	b	a	a		
	a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	成果の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	B	A
維持		E	D			
縮小		F				
休廃止	G					
	D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1504202	
事務事業名		文化財整備・保護事業		担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	4-2	ふるさと意識を高める		款	10	教育費
					項	05	社会教育費
					目	07	文化財保護費
根拠法令条例等		文化財保護法・福岡県文化財条例・志免町文化財条例		個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 14 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦文化財	箇所	197	197	197
		㊧史跡	箇所	2	2	2
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	<ul style="list-style-type: none"> ・(文化財)指定がなされる ・(文化財)適正に収集、整理、保存される ・(史跡)整備、管理される 				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	各種文化財の認定、適正な保存、管理と史跡整備、保存修理を行う ・文化財保護審議会の運営 ・文化財保存協議会への参加 ・文化財整理作業、委託契約事務、施設の光熱水費支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	文化財保護審議会開催数	回	目標	1	1	100.0%
				実績	1	1	
イ	活動	文化財保存協議会参加数	回	目標	1	1	
				実績	0	0	
ウ	活動	文化財整理数	箱	目標	200	200	100.0%
				実績	200	200	
エ	成果	文化財指定数(累計)	件	目標	8	8	87.5%
				実績	7	7	
オ	成果	史跡整備率(史跡整備数/史跡整備計画数)	%	目標	100.0	100.0	100.0%
				実績	100.0	100.0	
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			3,623	3,838	3,636	3,611		
合計(A)			3,623	3,838	3,636	3,611		
(内 会計年度任用職員人件費)			1,217	1,205	1,204	1,236		
正職員人件費[按分](B)			2,111	1,918	2,524	2,791		
トータルコスト(A)+(B)			5,734	5,756	6,161	6,402		
関与職員数(単位:人)		正職員	0.28	0.25	0.33	0.36		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成4年に担当者を配置。	②事務事業を取り巻く環境の変化 文化財保存・管理に係る学芸員の数が足りず、思うように整理作業が進まない状況である。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 歴史資料室利用者から施設の充実の要望がある。
------------------------------	--	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	文化財が整備・保存されることで、まちの歴史・文化を継承することができるので、総合計画の施策である「ふるさと意識を高める」の取り組み目標と一致する。	3
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	文化財保護法や町の文化財保護条例で文化財保存のために必要な措置を講じることが規定されているため。	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	文化財保護法で、公共の関与が示されているため。	
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	文化財を指定して保存することで、文化財を適正に保存できるが、指定するためには調査・研究する必要があり、時間がかかる。	2
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	文化財保護法・志免町文化財条例で文化財の対象が規定されている。	
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	対象において、委員会の専門的知識を伺ったり、他市町村の動向を把握したりすることは、文化財を適切に保存していくうえで不可欠である。	
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	文化財の保存を適切に行うため、事業内容の工夫や委託を行っているが、専門職員(学芸員)等の人手と時間がかかることはやむを得ず、削減の余地はない。	3
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	文化財を維持するためには適切な方法で管理していく必要があるため、予算を削減することはできない。	
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	対象となる事業がある場合はおうえん寄附金を活用し、財源を確保している。	

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	史跡地の管理など、文化財の保存・整備を進めることができた。専門家の意見等伺いながら、広く町民に周知できるように設備等の更新を行っていきたい。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
D		成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1504203	
事務事業名	竪坑槽保存管理事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総体 計画 系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予 算 科 目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	4-2	ふるさと意識を高める		款	10	教育費
					項	05	社会教育費
					目	07	文化財保護費
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 25 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 竪坑槽 ⑧ ⑨	件	1	1	1
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・適切に保存、管理される				
		竪坑槽が国の重要文化財(平成21年12月8日)となり、文化庁の指導により適切な保存管理を行う ・竪坑槽史跡地測量調査設計業務の事務 ・竪坑槽保存活用計画改訂の事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	会議(打合せ)回数	回	目標	1	0	#DIV/0!
				実績	1	18	
イ	活動	工事件数	件	目標	1	0	1
				実績	1	0	
ウ	活動	史跡地整備関連の委託件数	件	目標	-	2	0
				実績	-	2	
エ	成果	史跡地整備進捗率	%	目標	-	50.0	100.0%
				実績	-	50.0	
オ				目標			
カ				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		104,111	0	0	4,314	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			76,954	4,044	3,799	53,718		
一般財源			0	180	164	0		
合計(A)			181,065	4,224	3,964	58,032	未定	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)			2,141	2,398			
	トータルコスト(A)+(B)		181,065	4,224	6,105	60,430		
	関与職員数(単位:人)	正職員			0.28	0.31		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成21年12月8日に旧志免鉱業所竪坑槽が国の重要文化財となった。	②事務事業を取り巻く環境の変化 国の重要文化財として、文化庁の指導のもと適切に保存していかなければならない。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 今後の修理費用について、議会から問われた経緯がある。
---	---	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	総合計画では、竪坑槽の適切な保存管理と活用を行うことが謳われており、適切な保存管理することは、施策の「ふるさと意識を高める」取り組み目標と一致する。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			町で策定した「重要文化財 旧志免鉱業所竪坑槽保存活用計画」により保存していく必要がある。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	旧志免鉱業所竪坑槽を適切に維持管理するため、定期的な点検を行っていく必要がある。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			国の重要文化財である竪坑槽を、保存管理する事業である。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	竪坑槽の保存管理事業は、文化庁・県・委員会等の専門的知識を伺いながら進めるため適切である。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			竪坑槽を適正な方法で管理していく必要があるため、予算を削減することはできない。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業			事務事業コード	1504204	
事務事業名	歴史資料室運営事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総体 計画 系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算 科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	4-2	ふるさと意識を高める		款	10	教育費
					項	05	社会教育費
					目	07	文化財保護費
根拠法令条例等		文化財保護法			個別計画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 4 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
		㊦町民	人	46,518	46,631	46,532
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・志免町の歴史や文化財について知識を深めることができる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	歴史資料室の運営のほか、イベントや歴史講座など町内の歴史や文化財の学習啓発活動を行う ・歴史資料室の運営、企画展の実施 ・イベントの開催(文化財ウォーク、炭鉱かるた大会)、歴史講座の開催				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	資料室開室日数	日	目標	280	280	65
				実績	241	305	108.9%
イ	活動	企画展開催数	回	目標	1	1	1
				実績	1	1	100.0%
ウ	活動	イベント、講座等開催数	回	目標	3	3	2
				実績	1	1	33.3%
エ	成果	資料室入場者数	人	目標	1,200	1,200	300
				実績	286	208	17.3%
オ	成果	企画展示入場者数	人	目標	350	350	350
				実績	300	400	114.3%
カ	成果	イベント、講座等参加者数	人	目標	220	220	200
				実績	35	35	15.9%

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	0	0	0		
その他特定財源			0	0	0	0		
一般財源			651	725	608	446		
合計(A)			651	725	608	446	725	
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		2,185	1,832	2,301	2,096		
	トータルコスト(A)+(B)		2,836	2,557	2,909	2,542		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.29	0.24	0.30	0.27		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成4年に担当者を配置し、歴史資料を公開。	②事務事業を取り巻く環境の変化 資料室の施設が老朽化してきている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 歴史資料室利用者から施設の充実および担当職員の増員の要望がある。
---------------------------------------	--------------------------------------	--

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町の歴史や文化財に町民が関心を持つことは、上位施策の文化財や伝統文化に誇りを持ちながら住み続けたいと思えるまちづくりに直結する。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			総合計画の「ふるさと意識を高める」取り組みで、まちの歴史や伝統文化を継承することとしているため。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			博物館法に基づき地方公共団体が設置した資料室として、調査・研究・公開を町が責務として行うことが妥当であるため。
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	コロナ禍、現状のシステムにおいては、成果向上は難しいため、歴史資料館を建設し、展示施設等をリニューアルすることで、見学者数増が期待される。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			町民が町内の歴史や文化財に触れ、学ぶための機会となる。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			町の歴史を知ってもらうための資料の取り扱い、専門性の高い知識・経験が要求されるため、それに精通した専門職員(学芸員)による運営が必要になってくる。また、歴史資料館を竪坑槽周辺に建設することにより、町のシンボルとしての理解が深まる。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	資料室の運営を適切に行うためには、専門職員(学芸員)等の人手と時間がかかることはやむを得ず、削減の余地はない。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			資料の適正な維持管理や展示をしていく必要があるため、予算を削減することはできない。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			補助の対象となる事業が限られているため、補助対象となる事業を行う場合は補助金を申請することとしている。

分析・検証結果	妥当性	0点 1点 2点 3点				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)
		いずれか0点	d	c	c	
いずれか1点	c	c	c	c		
合計4点	c	c	b	b		
合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a		
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
	維持		E	D		
	縮小		F			
	休廃止	G				
D	成果・費用とも維持					

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

[福岡県志免町]

基本情報				<input type="checkbox"/> 令和04年度 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	1504205	
事務事業名		発掘調査事業			担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興		予算科目	01	一般会計	
	取り組み方針	4-2	ふるさと意識を高める			10	教育費	
	根拠法令条例等		文化財保護法			05	社会教育費	
						07	文化財保護費	
実施期間		<input type="checkbox"/> 04年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 4 年度より開始			<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑦ 発掘対象地	件	0	0	0
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	土地開発等による埋蔵文化財の調査等を行う ・開発事前協議による事前審査 ・試掘調査、発掘調査、埋蔵文化財の整理、報告書作成				
		・埋蔵文化財に関する記録が保存される				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	事前審査件数	件	目標	470	500	95.2%
				実績	495	476	
イ	活動	試掘件数	件	目標	5	15	80.0%
				実績	11	12	
ウ	活動	発掘件数	件	目標	0	1	
				実績	0	0	
エ	活動	発掘面積	件	目標	0	1	
				実績	0	0	
オ	成果	報告書作成件数	m2	目標	100	100	
				実績	0	0	
カ	成果	適正に調査が行われた割合(発掘件数/発掘が必要な件数)	%	目標	100	100	
				実績	0	0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債		0	0	0	0	
受益者負担			0	67	0	0		
その他特定財源			0	0	0	67		
一般財源			443	582	455	610		
合計(A)			443	649	455	677		
(内 会計年度任用職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		2,185	2,454	2,833	2,710		
	トータルコスト(A)+(B)		2,628	3,103	3,289	3,387		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.29	0.32	0.37	0.35		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成4年に埋蔵文化財を専門とする学芸員が配置され、町主導の発掘調査が始まった。	②事務事業を取り巻く環境の変化 平成18年度に建築基準法が改正され、事前審査数が増えた(年間350件)。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 開発者から費用負担を減らしてほしいとの意見がある。
---	---	---

事務事業評価表(事業実施年度:令和04年度)

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	埋蔵文化財に関する調査は、町の歴史を継承する一助となるため、総合計画の施策である「ふるさと意識を高める」取り組み目標と一致する。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			埋蔵文化財に関する資料の整備、その周知の徹底を図るために必要な措置を取ることが規定されている。
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			文化財保護法で、公共の関与が示されているため。
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	埋蔵文化財を適正に保存していくための事前審査照会システムを改善することによって、作業の効率化が図られる。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			埋蔵文化財包蔵地の調査を行うことで、町内の埋蔵文化財に関する記録が適切に保存される。
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			埋蔵文化財の調査をすることで、町の歴史の基礎資料が得られ、歴史資料として保存・活用が図られる。
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	埋蔵文化財を適正に保存していくためには、専門性の高い知識・経験が要求されるため、精通した専門職員(学芸員)が必要になってくる。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			埋蔵文化財の調査にかかる機材や備品等は、適切に処理するうえで費用がかかることはやむを得ない。
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			埋蔵文化財の調査費用は、原因者負担が原則としている。調査原因が個人住宅建設に伴う場合は国・県補助が認められ、町も負担することとなる。

		妥当性				分析・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		0点	1点	2点	3点		
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	埋蔵文化財が包蔵される可能性がある土地の試掘調査を行い、適正に埋蔵文化財包蔵地図の更新を行うことができた。今後は、出土した遺物の整理を少しずつ進めていく。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
D		成果・費用とも維持					